

印西地区環境整備事業組合次期中間処理施設整備事業  
地域振興策検討委員会第8回会議 会議録（概要版）

議 題	地域振興策検討委員会第8回会議
日 時	平成27年12月20日（日） 13:00～15:40
場 所	印西地区環境整備事業組合 3階大会議室
出席者	委員：7名（松崎区未選出）、事務局：6名、関係市町：3名、 コンサル：4名
配付資料	印西地区環境整備事業組合次期中間処理施設整備事業地域振興策検討委員会第8回会議資料、地域振興策に関する委員意見書ほか

主 たる 事 項

1. 開会

会議録署名は加藤副委員長と渡邊委員を指名。

2. 会議録について（第7回会議）

(1) 次期中間処理施設整備事業地域振興策検討委員会第7回会議録（概要版・全文会議録）について、事務局より説明。

3. 施設整備基本計画検討委員会第8回会議の報告について

(1) 次期中間処理施設整備事業施設整備基本計画検討委員会第8回会議の概要について、事務局より説明。

(2) ごみの搬入ルートについては、1本とすることが前提のように見受けられるが、災害時対応等を考慮すると、2方向以上のルートを確保する必要があるのではないかと。また、土砂災害の危険性のあるルートの評価が低いと、崖地に既存家屋が接近し、家屋に土砂災害の危険性があるエリアという意味ならば（他のルートにも崖地があるので）ルートの評価としてどうか。

⇒ご意見として承り、施設整備検討委員会へ報告する。

(3) 地域振興関連施設へのアクセス道については、施設整備側とは別に検討されたい。

⇒現時点では、地域振興策を展開する場や規模など、具体的なことが決まっていないため、アクセス道についても検討はできない。具体的には、来年度、地元と組合との協議により決めることとなる。

4. 地域振興策に関する意見書について【参考資料-1】

(1) 発電と余熱利用の関係について

・事務局より説明報告。

5. 地域振興策の未来像について

※ 福川委員長と加藤副委員長から、これまでに、ご自身が関わられた取り組みや事例の紹介と共に、今後の地域振興策の実現へ向けた考え方が示された。）

・福川委員長：高松における「まちのシューレ 963」を参考とした再開発の事例について

・加藤副委員長：道の駅が有すべき機能と、道の駅を活用した地域振興の展望について

6. 地域振興策総合パッケージの展開種別毎の評価について

(1) 展開種別 A（インフラ整備）について、快適な生活に資するという意味で総合的に地域振興に関わるため、もう少し評価を高めるように再考されたい。

(2) 展開種別B（多機能な複合施設）について、直売所等での住民同士の交流など、地域コミュニティとしての観点から評価に組み込むことを検討されたい。

(3) オーナー制度の水田や交通弱者対策等、いくつか振興策が抜けているので追加願いたい。

(4) 展開種別D（里地里山の保全）に関することが分かりやすいように、表現を再考されたい。

例) 会議資料P2の(2)D中の「・・・発見及び余暇など・・・」の“余暇”をボランティア（間伐・下刈り）などとしてはどうか。

(5) 表現を統一願いたい。例) “里山”を里地里山。

(6) P5の(7)中、“・・・持続可能性に貢献する。”を・・・持続可能性の象徴である。との表現に高めることを検討されたい。

(7) P7の(4)Dの評価を×から△緩衝機能があるとされたい。

⇒「展開種別毎の評価」については、個別の振興策の評価を行うものではなく、分類別に幅広く評価した資料である。本日の意見から、総括での評価・記述内容も含めて再考し、次回会議で提示する。

(8) 参考資料-2中の専門用語（DBO、PFI、SPC）について説明されたい。

⇒（コンサルタント説明）

①DBO（デザイン ビルド オペレート Design Build Operate）：公共所有のもとで、公共が資金調達を行い、設計、建設、運営維持管理を民間事業者に委託する方式のこと。この資料では公設民営を意味する。

②PFI（プライベート ファイナンス イニシアチブ Private Finance Initiative）：公共施設等を民間の施設として、民間が資金調達を行い、民間のノウハウで設計、建設、運営維持管理を行い、方式によっては民間から公共に所有権が移転する手法のこと。この資料では民設民営を意味する。

③SPC（スペシャル パーパスカンパニー Special Purpose Company）：特別目的会社。ある特別の事業を行うために設立された事業会社のこと。実施する事業を限定した会社で、その他の事業展開はできない。

⇒専門的な用語に関しては、用語集に追記し提示する。

(9) 地域振興策の展開を検討すべき場所や範囲を示す必要があるのではないか。

⇒本検討委員会では、基本構想レベルの評価であり、用地確保に関しては具体的に審議していない段階である。そのため、場所や範囲を示すことは難しい。

(10) パッケージの振興策で、実施主体を整理しなければ市や組合等との役割分担がわかりにくい。

⇒これまでの資料をベースに整理し提出する。

(11) P9の7 Bにも記されている「マリーナ構想」とはどのくらいの規模を想定しているのか。

マリーナという表現から大規模なものが想定されるが、印旛沼や新川の水深を考えると「船着き場」といったイメージなのか。場合によっては表現を変えたほうがよいのではないか。

⇒吉田区の思いもあるため、マリーナとの表現でもよいとは思いますが、再度、検討する。

## 7. その他

(1) 先進地視察は平成28年2月実施の予定であることを報告。視察先と調整の上、日時は改めて案内する。

(2) 第9回検討会1月24日（日）13：00から開催。

## 8. 閉会

※ 傍聴者：0名